

おいしい弥一芋ができました！

問 産業振興課 ☎84-0317

10月9日（水）、開成町ブランド認定産品である「開成弥一芋」（サトイモ）の出荷式が開催され、生産者や販売等に関わる団体が集まり、開成弥一芋をPRしました。開成弥一芋は12月上旬ごろまで、スーパー等で販売される予定です。開成町産の秋の味覚をぜひ味わってください！

◀表紙や裏表紙「今月の表紙」もチェック



ご長寿おめでとうございます

問 福祉介護課 ☎84-0316

9月26日（木）、山神町長が町内最高齢者の山崎 信雄（やまざき のぶお）さんを訪問し、長寿のお祝いに花束を贈呈しました。山崎さんは大正7年生まれの105歳で、元気の秘訣はベッドで体操をしたり、大きな声で歌を歌ったりすることだそうです。「周りの人に本当に良くしてもらい、とても幸せだ。」と笑顔でお話しされていました。



校歌にまつわる朝会

問 学校教育課 ☎82-5221

9月20日（金）、開成南小学校で開校15周年を記念し、「校歌にまつわる朝会」が開催されました。朝会では校歌を作詞した露木 希来（つゆき まりく）さんが、開校当時の様子や校歌の歌詞に込めた想い、ご自身の夢などを語りました。最後は露木さんのギター演奏に合わせ、こどもたちが元よく校歌を歌い、すてきな時間となりました。



スポーツの秋！

問 生涯学習課 ☎84-0325

10月6日（日）、開成水辺スポーツ公園で「開成水辺スポーツ公園開園30周年記念事業 かいせいスポ・レクフェスティバル2024」を開催しました。当日は、朝から雨模様でしたが開催と同時に晴れ間が差し、参加者はニュースポーツをはじめ、様々なスポーツやレクリエーションを楽しんでいました。

初開催の綱引き大会では、大人のチームを圧倒し、小学生のチームが▼優勝しました。



町の資源を使ったサステナブルな石けん！?

開成町から世界へ日本酒の魅力を発信する瀬戸酒造店。その日本酒を作る過程で出る酒粕から、石けんを作るワークショップが開催されているとの噂が…。どうやって石けんになるのか、どうして自然環境に優しいのか、実際に体験・調査してきました！

問 企画政策課 ☎84-0312



調べて！まちの調査隊



お肌と自然環境に優しい石けん
ができるまで



地元の水を使った美味しいお酒



自然にやさしい。

食材を原料にしているので、もし石けんや石けんかすが川や海に流れても、微生物や魚のエサになります。

お肌にやさしい。

酒粕には、肌に嬉しい栄養素がたっぷり含まれています。

石けん1個で
全身洗える！



酒粕石けん



瀬戸酒造店の店頭で販売しています。

いざ、ワークショップ！

酒粕石けんの作り方はいたってシンプル。酒粕と材料を混ぜて色をつけ、約1か月寝かせて完成を待ちます。「どんな石けんを使いたい？」という話題から始まり、和気あいあいとおしゃべりしながら作ります。



① 混ぜて…



② 色を作り…



③ 着色

編集後記



講師のNerine（ネリネ）さん（左）と

酒粕から作る石けんワークショップ、とても素晴らしいものでした。1か月後の完成が楽しみで仕方ありません！唯一の心残りは、車で行ったので、瀬戸酒造さんのお酒が飲めなかったこと…。次回こそは！講師のNerineさんのインスタも要チェック→



まちづくり情報特派員 堀岡一美